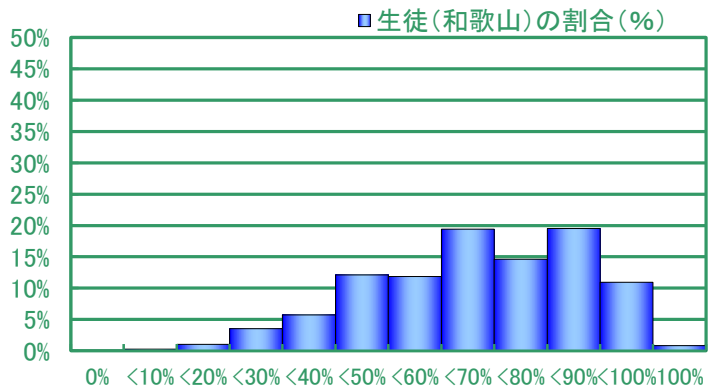


4 各教科の結果

【中学校第1学年 数学】

正答率(%)		
県	全国	差
65.8	65.8	±0.0

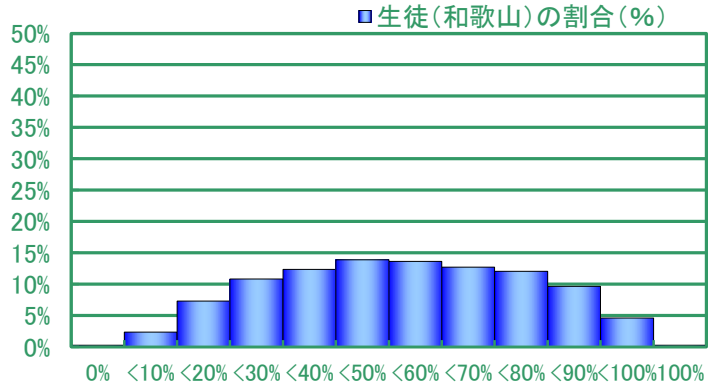


設問番号	領域	出題のねらい	県	全国	差			
			正答率	正答率	-10	0	10	
1	(1)	数と計算	2つの整数の最小公倍数を求めることができる。	77.6	78.3			-0.7
			2つの整数の最大公約数に関する文章題を解いている。	62.6	62.5			0.1
2		数と計算	除法の性質を用いて、小数の除法をしている。	66.7	65.0			1.7
3	(1)	数と計算	小数第一位×小数第一位＝小数第一位の計算ができる。	78.9	75.6			3.3
			同分母分数の加法(約分あり)の計算ができる。	89.0	88.4			0.6
			異分母分数の減法(約分なし)の計算ができる。	83.0	78.6			4.4
			分数×分数(約分なし)の計算ができる。	87.6	88.1			-0.5
			分数÷分数(約分あり)の計算ができる。	84.7	83.8			0.9
4		数と計算	分数の除法の文章問題を表した図を読み取ることができる。	63.1	71.9			-8.8
5		数と計算	文字を使った式が表す場面を選んでいる。	53.2	55.6			-2.4
6		数と計算	2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	58.8	54.8			4.0
7		図形	底面積と高さから角柱の体積を求めることができる。	74.4	74.8			-0.4
8		図形	円と三角形を組み合わせた図形の面積を求める式から、その求め方を示した図を選んでいる。	68.9	68.5			0.4
9		図形	円周の長さを求める式を選ぶことができる。	54.3	61.7			-7.4
10		図形	直線が180°であること、三角形の3つの内角の和が180°であることを利用して、三角形の内角の大きさを求めることができる。	78.0	79.2			-1.2
11	(1)	図形	合同な図形について理解している。	73.1	71.2			1.9
12	(2)		縮図を使って実際の直線距離を求めている。	73.5	73.2			0.3
13	(1)	図形	正方形の紙を二つ折りにし、切った後、開いてできる模様について理解している。	89.0	89.5			-0.5
			対称の中心について理解している。	89.5	90.9			-1.4
14		変化と関係	距離を表す単位の異なる速さと道のりから、かかる時間を求める式を選ぶことができる。	60.8	58.9			1.9
15		変化と関係	単位量あたりの値を求める式がどのような量を表す式かを説明している。	35.0	34.6			0.4
16	(1)	変化と関係	比較量と割合から、基準量を求めることができる。	34.5	30.7			3.8
			百分率について理解し、割引後の値段を求める式を選ぶことができる。	55.0	63.0			-8.0
17	(1)	変化と関係	比の式について理解している。	92.8	91.3			1.5
			図をもとに、全体の量を1とみて、比を使って部分の数量を求めている。	26.4	22.3			4.1
18	(1)	変化と関係	比例の関係を、 x と y を使って式に表すことができる。	87.3	83.5			3.8
			反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求めることができる。	61.3	58.5			2.8
19		データの活用	表から平均を求めることができる。	78.9	80.4			-1.5
20	(1)	データの活用	3色のビーズをつなげる順序が何通りあるかを求めることができる。	74.7	73.3			1.4
			4種類の中から2種類選ぶときの選び方が何通りあるかを求めることができる。	59.3	56.0			3.3
21	(1)	データの活用	帯グラフを読み取ることができる。	57.2	58.7			-1.5
			2つの帯グラフを正しく読み取り、比較している。	11.5	17.5			-6.0
22	(1)	データの活用	ドットプロットから、最頻値と中央値を読み取ることができる。	56.6	56.6			0.0
			度数分布表を完成させることができる。	67.9	67.5			0.4
			ヒストグラムの特徴をもとに、平均値付近の記録がいちばん多いわけではないことを説明している。	38.7	38.7			0.0

4 各教科の結果

【中学校第2学年 数学】

正答率(%)		
県	全国	差
52.1	53.4	-1.3



設問番号	領域	出題のねらい	県			全国			差		
			正答率	正答率		正答率	正答率		-10	0	10
1		数と式	絶対値と数の大小について理解している。	45.9	42.4						3.5
2	(1)	数と式	負の数の減法ができる。	85.4	87.4						-2.0
	(2)		負の数の乗法ができる。	84.6	88.8						-4.2
	(3)		同類項をまとめることができる。	77.1	78.7						-1.6
	(4)		1次式の減法ができる。	56.1	48.8						7.3
3		数と式	1次方程式を解くことができる。	72.5	71.8						0.7
4		数と式	比例式を解くことができる。	64.7	62.1						2.6
5	(1)	数と式	数量を文字式で表すことができる。	72.4	69.0						3.4
	(2)		数量の間の関係を不等式に表すことができる。	59.0	57.7						1.3
6		数と式	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	25.7	21.1						4.6
7		関数	関数について理解している。	16.6	18.8						-2.2
8		関数	反比例の関係での、 x 、 y の値の変化の関係について理解している。	50.7	56.7						-6.0
9	(1)	関数	反比例の関係の表をもとに、 x 、 y の値から、反比例の式に表すことができる。	45.3	46.7						-1.4
	(2)		比例の式から、比例のグラフをかくことができる。	48.0	45.4						2.6
10		関数	正方形の辺上を動く点を頂点とする三角形の面積の変化の様子を式に表し、 y の値から x の値を求めることができる。	36.6	36.0						0.6
11		図形	回転移動させたときの回転の角の大きさについて理解している。	54.5	60.2						-5.7
12		図形	角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図することができる。	21.0	23.6						-2.6
13		図形	おうぎ形の面積を求めることができる。	48.5	44.0						4.5
14	(1)	図形	三角柱の辺のねじれの位置関係について理解している。	81.0	84.1						-3.1
	(2)		直角三角形を回転させたときの回転体について理解している。	86.0	89.9						-3.9
	(3)		四角錐の投影図について理解している。	80.3	82.3						-2.0
15	(1)	図形	円錐の側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求めることができる。	38.9	41.4						-2.5
	(2)		底面積が等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している。	53.3	54.9						-1.6
16	(1)	データの活用	累積相対度数について理解している。	56.9	66.2						-9.3
	(2)		範囲に関する説明の中から正しい文を選ぶことができる。	43.0	47.4						-4.4
17	(1)	数と式	目標の数との差を正負の数で表した表から、最大の数と最小の数の差を求めることができる。	36.9	33.1						3.8
	(2)		目標の数との差を正負の数で表した表を理解して、7日目ですべての花束を作ることができれば、目標の数の花束を作ることができるか判断し、その理由を説明できる。	43.5	42.2						1.3
	(3)		比例の考え方を利用し、追加で花束を作ったときにかかる時間を求めることができる。	44.9	43.9						1.0
18	(1)	データの活用	ヒストグラムから階級の幅を読み取ることができる。	37.0	53.8						-16.8
	(2)		全体の中での1つの記録の位置を判断するための根拠となる値を選ぶことができる。	22.3	25.3						-3.0
	(3)		ある傾向が強いと思われる一方を選び、その理由を2つの相対度数の度数折れ線から読み取った傾向をもとに説明することができる。	26.5	31.7						-5.2